

# 報告事項

## 平成23年度基礎学力調査の結果について

### 1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力（知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等）の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

### 2 調査の対象等

#### (1) 児童生徒に対する調査

##### ○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	225校	225校	94校
実施児童生徒数	10,685人	10,732人	10,488人
対象教科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

##### ○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	5,074人	5,352人	2,822人
調査の内容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区分	小学校	中学校
実施校数	77校	33校
実施教員数	1,193人	686人
調査の内容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成23年4月18日(月)

区分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語(45分)	社会(40分)	社会(45分)
	2限	算数(40分)	理科(40分)	理科(45分)
	3限			英語(45分)
質問紙調査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

教科に関する調査

学年	教科	平均正答率
小学校 第4学年	国語	68.3% (74.0%)
	算数	72.3% (74.9%)
小学校 第6学年	社会	69.9% (73.2%)
	理科	65.7% (64.6%)

学年	教科	平均正答率
中学校 第3学年	社会	53.4% (63.0%)
	理科	60.2% (52.3%)
	英語	55.8% (61.5%)

※ ( )内は平成22年度の平均正答率

◎：良好である      ○：概ね良好である      ◇：基準に到達している  
▽：十分とはいえない      ▼：不十分である

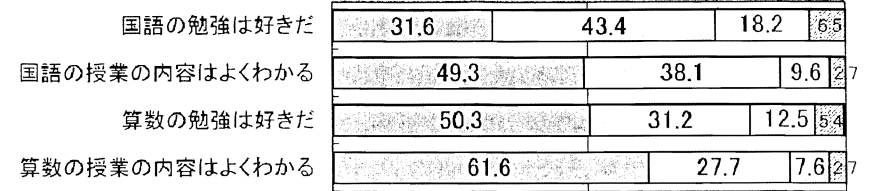
- 小4小6中3
- ◎ 話の中心に気を付けて大事なことを聞き取ること
  - 敬体と常体の違いに注意しながらより良い表現に書き直すこと
  - ▼ 段落相互の関係を読み、要約すること
  - ▼ ローマ字を読むこと
  - ◎ 基本的な四則計算をすること
  - ◇ 情報を取り出して道のりを計算すること
  - ◇ 加法と減法の相互関係を図や式で捉えること
  - ▼ はかりの目盛りから、全体・容器・正味の重さの関係を読み取り、不足分の重さを求めること
  - 地図帳を用いて、石川県の様子について必要な情報を検索すること
  - 工業生産を支える運輸の働きについて考え、理解すること
  - ▼ 石川県の市町の数を理解すること
  - ▼ 日本の自動車の海外生産について複数の資料を関連付けて考え、表現すること
  - 雲画像から天気を読み取ること
  - ▽ 回路のつなぎ方を図示すること
  - ▼ 溶解度のグラフから物質を特定することや溶け残りを溶かす方法について理解すること
  - ▼ かげのできる位置の変化と太陽の動きの関係について考察すること
  - ◇ 地図から必要な情報を的確に読み取り、判断すること
  - ▼ 各時代の特徴的な歴史的な事象について理解すること
  - ▼ 歴史的な事象の意味・意義を解釈し、説明したり、図を用いて表現すること
  - ▼ 時代の転換に着目し、それぞれの共通点や相違点を考察し、各時代の特色を捉えること
  - 誘導電流を大きくする方法について考えること
  - ▼ 物体の体積と質量から密度を計算して求めること
  - ▼ 露点から湿度を求めること
  - ▼ 対照実験の意図について考察し表現すること
  - ◇ ポイントとなる語を正しく聞き分けて、絵の内容を表す英文を理解すること
  - ▼ まとまりのある英文を聞いて、内容を整理しながら要点や詳細な情報を聞き取ること
  - ▼ 場面や状況に応じた内容、伝えたい情報を正しい語順や語法で書くこと
  - ▼ 自分の考えや気持ちが正しく伝わるように、まとまりのある英文を書くこと

質問紙調査

学習に対する意識

- ・国語の勉強は好きと答えた児童の割合は約75%，授業はよくわかると答えた児童は約87%
- ・算数の勉強は好きと答えた児童の割合は約82%，授業はよくわかると答えた児童は約89%

□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない ■無回答



学びの指針との関連

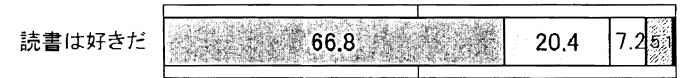
7 学習・生活習慣

- ・学校の宿題をしていると答えた児童の割合は約96%
- ・朝食を毎日食べていると答えた児童の割合は約97%

8 読書活動

- ・図書館を使って勉強することが好きと答えた児童の割合は約90%，読書は好きだと回答した児童の割合は約87%

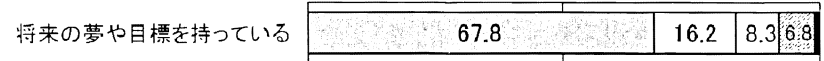
□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない ■無回答



10 将来の目標

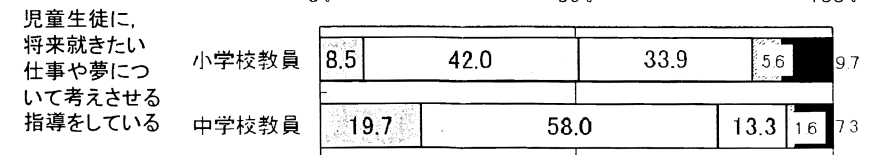
- ・将来の夢や目標を持っていると答えた児童の割合は約84%

□あてはまる □どちらかといえばあてはまる □どちらかといえばあてはまらない □あてはまらない ■無回答



- ・仕事や夢について考えさせる指導をしていると答えた小学校教員は約51%，中学校教員は約78%

□よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない ■回答できない



小4

教員